3 桂谷（けいこく）八十八ヶ所めぐり

1200年の歴史と自然に満ちた**修善寺温泉**は、弘法大師が発見したという湯処・伊豆の名門。この温泉場を囲む自然の中に四国八十八ヶ所を模した**桂谷八十八ヶ所**がある。

昭和5年（1930）、当時の修禅寺38世**丘球学**老師が四国の各霊場の土を持ち帰り、弘法大師ゆかりの修善寺に移し桂谷八十八ヶ所として創ったものである。仙台石に丘球学老師の筆による弘法大師像と四国の各霊場の山号・寺号、ご本尊名、ご詠歌などが刻まれている。

石碑の設置場所も老師が自ら歩いて、これを決めたという。石碑前の礼拝石の○印の下に四国霊場の土が埋められているので、これを踏んで巡拝すれば、四国霊場巡拝と同じ功徳があるという。

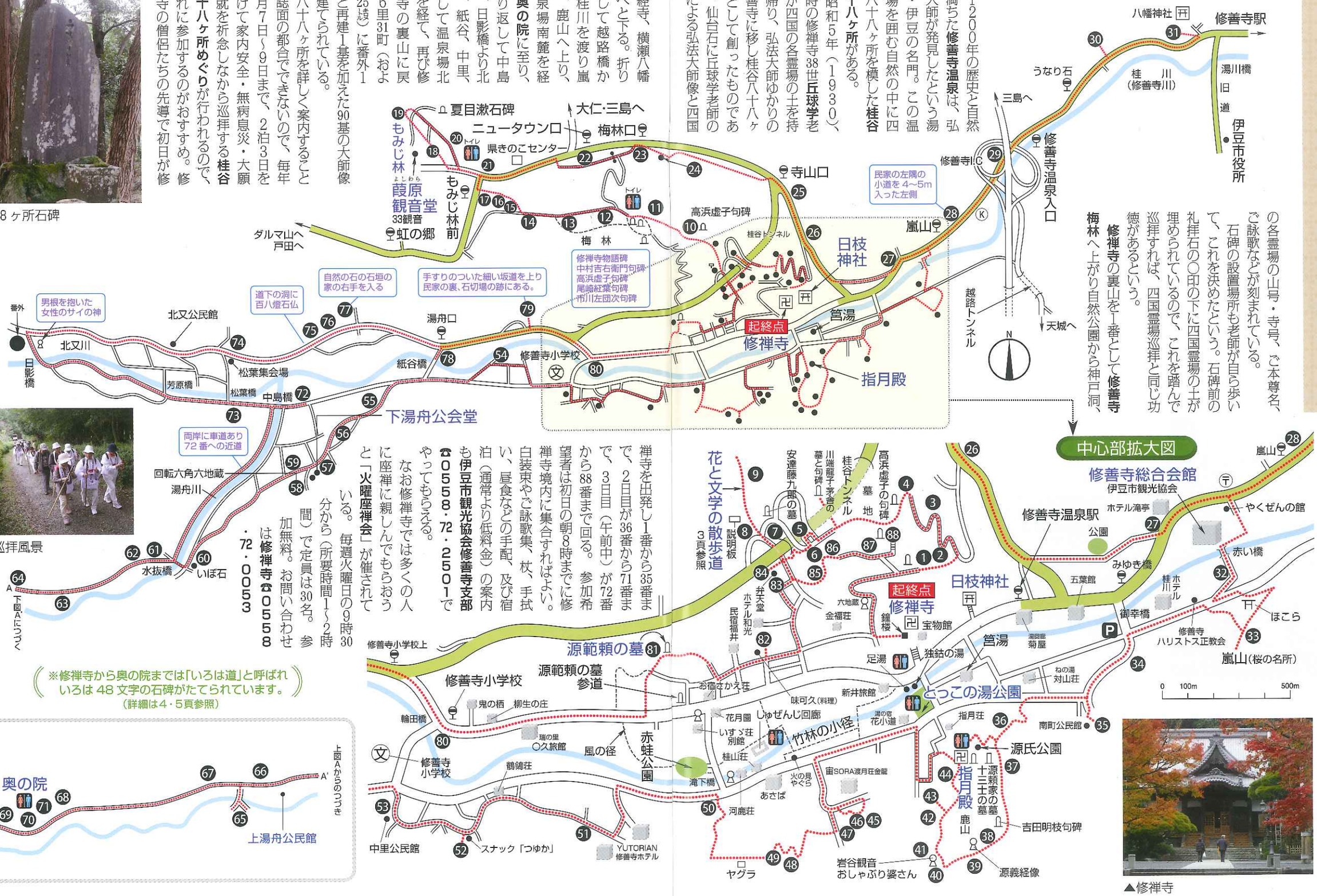
修禅寺の裏山を1番として**修善寺梅林**へ上がり自然公園から神戸洞、半経寺、横瀬八幡宮へと下る。折り返して越路橋から桂川を渡り嵐山、鹿山へ上り、温泉場南麓を経て**奥の院**に至り、折り返して中島橋、日影橋より北又、紙谷、中里、そして温泉場北麓を経て、再び修禅寺の裏山に戻る6里31町（およそ25㌔）に番外1基と再建1基を加えた90基の大師像が建てられている。

八十八ヶ所を詳しく案内することは誌面の都合でできないので、毎年11月7日～9日まで、2泊3日をかけて家内安全・無病息災・大願成就を祈念しながら巡拝する**桂谷八十八ヶ所めぐり**が行われるので、これに参加するのがおすすめ。修禅寺の僧侶たちの先導で初日が修禅寺を出発し1番から35番まで、2日目が36番から71番まで、3日目（午前中）が72番から88番まで回る。参加希望者は初日の朝8時までに修禅寺境内に集合すればよい。白装束やご詠歌集、杖、手拭い、昼食などの手配、及び宿泊（通常より低料金）の案内も**伊豆市観光協会修善寺支部☎0558・72・2501**でやってもらえる。

なお修禅寺では多くの人に座禅に親しんでもらおうと「**火曜座禅会**」が催されている。毎週火曜日の9時30分から（所要時間1～2時間）で定員は30名。参加無料。お問い合わせは**修禅寺☎0558・72・0053**

▲88ヶ所石碑

▲巡拝風景



▲修禅寺

修善寺温泉を取り囲む自然の中に四国霊場巡拝にひとしいご利益を求めて